

(令和2年5月試験研究業務月報)

試験研究課題名：ICTを活用した豆類栽培における省力生産技術の確立
(平成31年度 プロジェクト研究)

研究

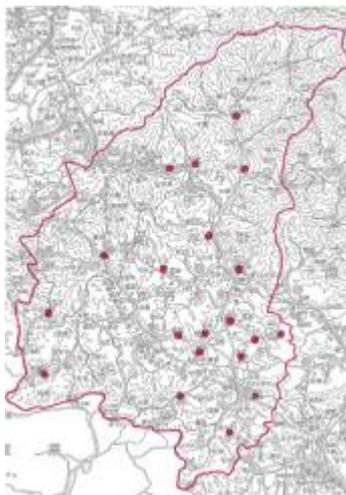
ほ場単位でのエダマメ生育予測システムの確立を目指して

京都府オリジナルエダマメ『京 夏ずきん』・『紫ずきん』の中核を担う生産者は数 ha 以上の規模があり、環境条件が異なるほ場を持つため植付時期をずらしても収穫期が重なるなど、ほ場間で作業競合が生じることがあります。そのため、収穫放棄や収穫遅れになるほ場があり、ほ場ごとのきめ細かな気温情報による計画生産が課題となっています。

そこで（国研）農研機構西日本農業研究センター（以下、西農研）が開発した、50m 四方単位で気温が推定できる「50m メッシュ気温図」*を活用し、昨年度からほ場単位の気温図の作成に取り組んでいます。

農林センターでは、今年度も西農研と協力して、モデルの調査対象地とした京丹波町内の豆類生産地域の 20 箇所のほ場に温度計を設置して温度データの取得を行い、温度による生育の予測精度の向上を図ることとしています。

※50m メッシュ気温図：緯度経度に沿って 50m 四方単位での網の目（メッシュ）をかけて位置を表し、その網の目ごとの気温情報を推定した地図。実測値と近隣のアメダスデータ、標高データから、面的な温度を推定する。



京丹波町内に配置した温度計の設置箇所
(20 箇所の温度調査によって京丹波町
全域の温度情報の推定が可能)



温度計の設置作業
(実施日：5月19日)